

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	旅行代理店（経営者）	・3か月後は繁忙期に入るため、現在よりも販売量が増える。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・これから暖かくなっていくと、飲料関係が大分出るとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・ゴールデンウィーク中は旅客の移動が増えることが期待でき、高単価のギフト商材や食料品、さらには気温上昇により飲料全般の需要が増えることから、売上増加が見込める。
	○	コンビニ（エリア担当）	・ゴールデンウィーク等により行楽客が多くなるため、やや良くなる。
	○	衣料品専門店（販売担当）	・希望的観測だが、徐々に暖かさも出て春になると、人の気持ちはやや上向きになるため、人出も若干は良くなると期待している。日々、客の呼び込みに努力していきたい。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・年度末等、宴会や外食の機会が増えてくると予想している。
	○	一般レストラン（経営者）	・暖かくなると、花が咲きイベントも増えるため、やや良くなる。
	○	都市型ホテル（経営者）	・外食産業の2月はどん底だが、3～4月の歓送迎会シーズンと5～6月の総会シーズンは会合が増えるため、若干良くなる。
	○	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門も料飲部門も前年に引き続き、高稼働を維持している。
	○	旅行代理店（所長）	・前年の状況や全国的な今後の見込み情報をみても、インバウンド需要は高まると想定されるため、新年度以降はある程度の数字の上積みが可能だと考えている。
	○	タクシー運転手	・歓送迎会の時期なので、少し期待できる。
	○	タクシー（経営者）	・12月、1月と増収が続いているため、この先も良いと想定している。
	○	美容室（経営者）	・食料品、燃料費等の物価高のしわ寄せが、サービス業にもろに荒波のように被ってきている。
	□	商店街（代表者）	・天候が良くなって旅行や行楽に出掛ける機会が増えれば、景気は大きく落ち込むことはない。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・ウクライナとロシアによる戦争が解決するような話がある。うまく解決してくれれば輸入品が安く入って物の値上がりや客の買い控えも抑えられるのか、新年度に期待する。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・国内は物価高のため、なかなか消費行動に結び付きにくいだが、海外旅行客は堅調に推移すると予想される。将来の景気は変わらず、比較的良い状況が続くとみている。コロナ禍もほとんどない状況なので、積極的に動く事業者が多い。
	□	百貨店（営業担当）	・物価高に伴い生鮮食品や日配品の不振が続いている。可処分所得の増加は見込まず、消費マインドは改善しない。
	□	百貨店（店長）	・所得増加と物価上昇がきつ抗しており、実質賃金が大幅にプラスになるイメージが湧かない。一段と2極化が進む可能性もあり、進み方によって、景気動向は左右される。
	□	スーパー（総務担当）	・備蓄米放出等の政府対応により、一時的な改善もあるかもしれないが、収入は変わらないため、景気回復の要因が見当たらない。
	□	コンビニ（エリア担当）	・3か月後はゴールデンウィークで、景気はまた良くなるとみている。
□	家電量販店（営業担当）	・新生活の時期だが、客単価が前年比90%と厳しい状況である。関連商材販売の強化を徹底させ、単価向上を目指す。現状の課題は配達員不足である。	
□	乗用車販売店（従業員）	・車両価格の値上がり等で受注は伸びていない。受注残も厳しい状況が続いている。	
□	乗用車販売店（営業担当）	・現状を考えると変化はない。	
□	住関連専門店（仕入担当）	・天候の影響でやや販売量が持ち直しているが、それ以外の景気改善要素はなかなか見当たらない。物価高騰に伴い節約志向はまだしばらくは続く。	
□	その他専門店（総務担当）	・この先の物件が少ない。	

□	一般レストラン（経営者）	・連休があるため期待はしたいが、良くなる兆しはみえない。
□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・給食部門の新年度からの新規入札案件は、例年どおりの数があった。ただし、入札に手をあげる業者数は例年より少なかったようにみられる。人手不足が重荷となり、入札面においても慎重に取り組んでいる業者が多いとみている。
□	旅行代理店（営業担当）	・今年の春闘の賃上げの結果次第である。
□	通信会社（社員）	・近い将来では変わらないだろうが、当業界への物価高の影響が懸念される。
□	通信会社（営業担当）	・米価の高騰で、備蓄米の放出は行ったものの、近年の米不足の根本対策に目を向けていないため、今後一定程度の値下がりがあったとしても、以前の価格へは戻らないと予測する。全般的な物価高の影響からも、現状維持のままではないかと考える。
□	テーマパーク（職員）	・安定した天候を期待するが、ガソリン価格の値上げ等、マイナス要因があり、来園者数が増加するとは考えにくい。
□	ゴルフ場（従業員）	・ゴルフシーズンに入り、土日の予約は好調なもの、ゴールデンウィークは前半と後半で分かれるため、中日の動きが鈍い状況となっている。
□	住宅販売会社（経営者）	・不動産に対する問合せや動き等が、当地では余り芳しくない。
▲	百貨店（営業担当）	・卒業式や入学式等のハレの日需要や新生活準備といった消費は変わらず堅調である。生活密着の衣食住消費はセーブする動きがみられる。今後、劇的な景気回復要因も少ないと予測できるため、身の回りの景気は現状維持か若干下向くと考えている。
▲	コンビニ（店長）	・2月は比較的暖かく雨天もなかったため、来客数は良かった。3か月後は通常に戻るとみている。
▲	乗用車販売店（経営者）	・当地の自動車メーカーは北米向けの輸出が多いため、米国の関税25%アップの状況を注視し、心配している。
▲	自動車部品販売店（経営者）	・将来的に税金が上がるのではないかと不安があったり、インフレ傾向で物価も高くなっている。ガソリンも高く、価格が動くことがないため、全体的に消費が低迷している。
▲	住関連専門店（店長）	・先行きは不透明である。
▲	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・来客数や売上の停滞に加えて、野菜等の生鮮品の不作と価格高騰の影響がある。また、加工食品、原材料の値上げも続き、原価率が上昇し利益の確保が難しい。メニューの値上げをせざるを得ないため、注文数が低迷し、悪循環になると予想している。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊とレストラン部門は順調に前年実績、予算をクリアしているものの、宴会売上が伸び悩んでいる。1件当たりの単価はアップしているが、コロナ禍を経て、会合自体がなくなったり、参加を強いることができなくなったこともあり、人数、受注件数が戻り切っておらず、売上を単価上昇分でカバーできていない。
▲	通信会社（総務担当）	・2～3か月後が例年、販売の谷であることと、前年比での漸減傾向が止まらないため、やや悪くなる。
▲	通信会社（局長）	・米国の経済がどう動いていくかにより、日本にも影響が出てくる。
▲	設計事務所（所長）	・これまで安泰だった大企業が大きな動きをしていて、時代の転換期に入ってきたようである。一時的に景気は下降する。
▲	住宅販売会社（経営者）	・住宅ローンの金利が上昇傾向で、買い控えがあるとみているため、やや悪くなる。
▲	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・様々な物の値上げが続く限り、生活をする上で支障をきたすか、あるいは資金的に余裕があるかのいずれかが、リフォームや改修への動機になるとみている。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・結局、減税は行われず、増税という形になっている。客の中には、生活が苦しく米も買えない、電化製品にお金を回せないという客がかなりいる。地方のことも少し考えて政治をしてもらわないと、地方の小売店は潰れてしまう。
×	スーパー（商品部担当）	・商圈エリア内に、3か月後に新規モールの出店予定がある。現状でも厳しい状況が更に悪化する。

	×	家電量販店（店員）	・耐久消費財の買換え促進策があればよいが、現状では厳しい。
	×	乗用車販売店（経営者）	・政府の不安定さや、米国の動向を考えると悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・物価高騰がいまだに続いており、先行き不安で買い控えがますます顕著になっている。
	×	ゴルフ練習場（経営者）	・消費者の買い控えで、悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・食料品、電気料金等、生活を圧迫するほどの負担増を強く実感している。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	金融業（営業担当）	・全体的に、個人消費は引き続き拡大するとみている。
	□	化学工業（管理担当）	・5～6月頃の受注量は依然として厳しい。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・年度内は生産に追われている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・米国政権による関税の影響がどう動くか分からないが、輸出関連の仕事は間違いなく減る傾向が予想される。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・景気が良くなるとかこれ以上悪くなるという話は聞かない。このままの状況で動くのではないか。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・ここ2～3か月は価格改定により、若干良くなっている。これから先は、余り改定はないため良くならない。2～3か月先は全く分からない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況等もいまだ続いている。
	□	輸送業（営業担当）	・新年度の4月に向かい、新生活用品、白物家電、家具、寝具等の生活雑貨は前年並みの物量を確保予定である。しかし、現状の燃料価格の高騰と引越し需要、ドライバーや車両不足が重なり、全ての依頼に対する協力会社の車両も高く、コスト高となっており、利益は薄くなりそうである。
	□	経営コンサルタント	・大手、中小企業の賃上げもそろそろ落ち着き、一定の方向性がみられるところだが、消費面にどの程度押し上げ効果があるのか不明である。米国の産業貿易政策が国内にも影響し続けるとみている。
	□	司法書士	・法改正はそれなりの力があるようで、まだ数年はこのまま変わらずに、各事務所でやや良い状態がずっと続いていく。
	□	社会保険労務士	・予算が無事成立したとしても何も変わっていない。地方創生をきちんと進めてほしい。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・取引先からの受注量をみても、やや悪くなる。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・中国経済が悪化している。材料が廃番となるため、1年分の製品を作り、その間に次の材料の試験を行う。次の材料が認定されるまでの約1年は作業があるが、その後はこの製品の作業はなくなる。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先から、販売量が増えず在庫が増えているため、この先も減産傾向になるとの話があった。先行きもかなり厳しくなると予想している。
	▲	建設業（総務担当）	・発注量が少なすぎる。補正予算の効果も想定されたほどではなく厳しい。
	×	食料品製造業（経営者）	・消費者の購買意欲の減退は顕著で、今後の生活防衛から、価格が高くなった商材の買い控えが激しくなる。地方経済の疲弊は過去に経験がないほどである。
×	不動産業（管理担当）	・賃上げをしないと今後の会社運営にも支障が出てくるおそれがある。ただし、現在の利益状況ではそれほど賃上げはできない。今後も価格改定交渉は継続予定だが、それ以上の物価高が続くと非常に厳しい。	
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・時期としてはまだ寒い日が続くものの、卒業シーズン、退職、入学等の節目のギフト商材や制服等の衣料が目立ってくる。ただし、賃金の方が追い付くかどうかは心配がある。ガソリン価格、灯油等は落ち着いてくれればという期待はあるが、財布のひもは固い。公共工事については依然として伸びてくる。
	○	人材派遣会社（管理担当）	・4月より派遣単価が上がる取引先が数社あるため、やや良くなる。

○	学校〔専門学校〕（副校長）	・物価上昇により買い控え等の行動も予想されるが、雇用状況が良く、賃上げも見込まれるため、今後も消費行動は活発化するとみている。
□	人材派遣会社（社員）	・当社の取引先の宿泊施設では、稼働はずっと変わらず、ある程度高い予約率で推移している。物産店と話をする機会があったが、観光客関連の販売数があり、今は外国からの観光客もたくさん来ている。地域的にも世界遺産があるため、入込客の動きがある。
□	人材派遣会社（社員）	・50～60代の求職者が多く、企業の求める層とのギャップが大きい。企業側にもシニア層の積極的採用を理解してもらい、採用活動を進めてほしい。
□	職業安定所（職員）	・新規求人の動向について、医療福祉分野は増加傾向で推移している。建設業は減少傾向で、製造業、卸・小売、サービス業については増減を繰り返している。
▲	*	*
×	—	—